

## 平成26年度住民参加型高齢者生活支援事業住民報告会 これからも安心して暮らすために

町では、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活するため、住民が参画し高齢者を支える地域づくりや必要な支援体制をつくることを目的に、住民参加型高齢者支援事業を実施しており、平成25年度には町内5か所で計25回の意見交換会と最後に報告会を開催。平成26年度には意見交換の結果を踏まえ、実践に向けた検討会を町内5か所で計17回開催しました。

その平成26年度における活動の報告会を3月22日（日）、ふれあいプラザにおいて開催しました。地域の皆さんや関係者ら約100人が参加して行われた報告会では、各地域での取り組みが報告され、若松地区（若松白虎見守り隊）の「99カード」事業や「丹羽支え合いの会」の活動など5つの地区の活動報告が行われました。引き続き行われた意見交流会では、活地域での声掛けや支え合いの重要性などさまざまな意見が出され、活発な意見交換が行われました。



## 糖尿病を予防する食事をテーマに ヘルシー料理教室を開催

3月19日（木）、ふれあいプラザにおいて、糖尿病を予防する食事をテーマに、ヘルシー料理教室（主催：保健福祉課）が開催されました。

参加された皆さんはまず、糖尿病の予防について食事のポイントなどを学んだ後、予防や治療に効果的な低カロリーで、薄味でも美味しい料理を実際に作りました。

今回作ったのは、タラを使った「白身魚と彩り野菜のホイル焼き」、「お豆のコロコロサラダ」、「白菜とじゃがいものミルクスープ」、「雑穀ごはん」、「りんご」の5品。

完成後、実際に料理を試食した皆さんは、味付けを薄くしてもちょっとした工夫で美味しくなることを実感していました。



# Topics

## STVどさんこワイド179「稲田直人が行く！ ファイターズ北海道179市町村応援大使」 5月7日せたな町編放送予定

STVテレビ「どさんこワイド179」と北海道日本ハムファイターズの共同企画、「稲田直人が行く！ファイターズ北海道179市町村応援大使」の取材陣が先日せたな町を訪れました。

これは、シーズン中の選手に代わってSTV野球解説者の稲田直人さんが「応援大使代理人」として各市町村を訪問し、まちおこしを応援するものです。

せたな町の応援大使である、斎藤佑樹選手、近藤健介選手からの依頼でせたな町にやってきた稲田直人さんたち取材陣は、まず高橋町長のもとを訪問。その後、町内の各地を2日間取材し、この模様は5月7日（木）のSTVテレビ「どさんこワイド」において、午後4時過ぎころ放送される予定となっています。（放送の日時については変更の可能性もあります）





## 「北檜山ラウドネス」と「せたなジュニアFC」の子どもたちが、日ごろの感謝を込めて町をきれいに

4月9日（木）、せたな町の小学生野球チーム「北檜山ラウドネス」とサッカーチーム「せたなジュニアFC」の子どもたちと保護者、指導者らが一緒に町内のごみ拾いを行いました。

これは、いつも温かい応援や支援をいただいている町の皆さんへ、日ごろの感謝を込めて町をきれいにしようと両チームが声をかけ合って行われたもので、北檜山区のバスターミナルから役場庁舎までを約1時間かけてごみ拾いをしました。

## 大成区 羽原啓市さんが北海道社会貢献賞を受賞

4月3日（金）、役場応接室で平成26年度北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労者）を受賞した大成区 羽原啓市さん（宮野）へ賞状が伝達されました。

羽原さんは、鳥獣保護員及び自然保護監視員（昭和56年～平成4年まで江差町、平成10年～現在までせたな町）として27年間、野生鳥獣の保護及び被害防止などに貢献し、その功績が評価され今回の受賞となりました。

この日は、檜山振興局環境生活課の遠藤環境福祉長より羽原さんへ賞状と記念の楯が伝達されました。



高橋町長

羽原啓市さん

遠藤環境福祉長

## 地域で考える成年後見制度をテーマに成年後見人制度研修会を開催

3月21日（土・祝）に「成年後見制度研修会」がせたな町健康センターで開催されました。

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で自分での金銭管理や福祉サービス等の利用契約をすることが困難な方に対し、支援するための制度です。

今回の研修会は、「地域で考える成年後見制度」をテーマに、障がいなどにより判断能力が低下した方への理解を深め、その方達を支援する「成年後見制度」と「権利擁護」について行われ、約30の方が参加し、成年後見制度・権利擁護についてくわしく学びました。

